

# TERAKOYA ICHIKAWA PROJECT

寺子屋。

江戸時代、すべて庶民の戸籍は寺にありました。つまり、全国どこにでも拠りどころとしての「寺」があったのです。

寺には子どもたちが集まり、読み書きを習いました。それが寺子屋の語源です。江戸では「手習い」と呼び、教えることを業とする「手習い師匠」も数多く存在しました。

そのため、江戸後期の我が国の識字率は世界でもずば抜けて高かったといえます。幕末に来航したロシアの軍人・ゴローニンが、「日本には読み書きのできない人間は一人もいない」と述べたのは有名な話で、その他にも大勢の外国人が日本人の識字率の高さに感銘を受け、記録に留めています。

文字を読めること。せめて自分の名前ぐらいは自署できること。それは、国際社会の大きなうねりに漕ぎ出した我が国が、新たな時代を乗り切るための強靱な足腰となりました。

2019年4月、新たな在留資格・特定技能の運用開始により5年間で34万人の外国人の雇用が見込まれています。あいさつ程度の能力だけで、通年の日本語教育も受けないままポンと我が国社会に飛び込んでくる外国人がそれだけ増える、と言ってもあながち過言ではないでしょう。どんなときでも学ぶに遅すぎることなど決してありません。たとえどのような経緯で我が国にやってきた外国人であれ、その方が街で、職場で、社会で、困らないだけの「ことばの足腰」を鍛えてあげよう。それは必ず私たち地域の日本人、ひいては我が国全体の国益となり、その方の母国への貢献にもなるはずだから。

市川市から、いつかは世界を変えてゆく。

2019年2月、寺子屋いちかわプロジェクト、始動します。

- \* 寺子屋いちかわプロジェクトは、想いのベクトルを同じくする有志によるパートナーシップ・プロジェクトですが、決して無償の社会奉仕ではありません。「寺子」であるスクール生の皆さんから対価をいただくことで継続性を担保し、手法や品質を常にブラッシュアップしてまいります。
- \* 外国人従業員の方の日本語学習支援の一環でご利用される企業様を歓迎いたします。寺子屋スペースに限りがあるため、必ず事前にご相談ください。企業様での就業現場の実情に合わせ、安全衛生の観点に即した個別カリキュラムを作成いたします。
- \* ご支援くださる企業様、団体様を募集しております。ご支援の内容等に応じて、日本語学習、在留支援、企業法務等においてサポートをご提供することでご返礼とさせていただく予定です。
- \* 市川市内及び周辺で、本プロジェクトの趣旨にご賛同くださり、スペースを無償又は廉価で定期的に貸してくださる方、場所をお持ちの方でご自身でやってみたいという「ヤル気」のある方も、お問合せください。

## — 開講予定 —

### ◆寺子屋いちかわ・もえぎ塾 2019年春 開講

春に萌え出る植物の新芽の色をあらわす「もえぎ」。新しい時代に相應しい、小さくとも力強い息吹が感じられるスクールです。



◆寺子屋いちかわ・かもめ塾 2019年春 開講

宮内庁鴨場や野鳥の楽園に程近い，新浜。ある起業家の方のご厚意で開講が可能に。「共生」の夢に向かって，はばたけ，かもめ。



\* 開講情報は順次追加いたします。